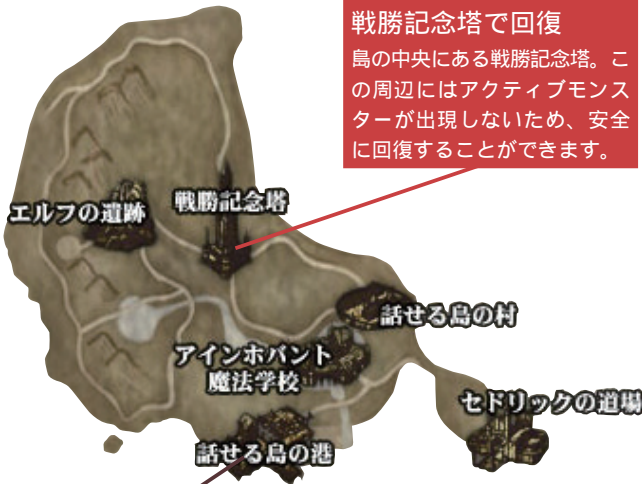


「話せる島」マップ

ヒューマンのスタート地点となる「話せる島」の地図です。ファイター育成の参考に役立ててください。

話せる島 フィールドマップ

アデン大陸の南西にある孤島が「話せる島」です。ここでは話せる島の村から北西に進むほど、出現するモンスターのレベルが上がってきます。また、エルフの遺跡にはフィールドにはいない種類のモンスターが出現します。



戦勝記念塔で回復
島の中央にある戦勝記念塔。この周辺にはアクティブモンスターが出現しないため、安全に回復することができます。

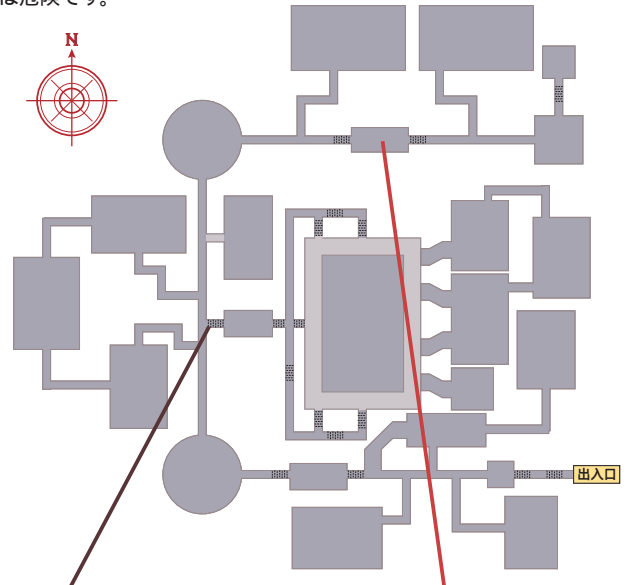
乗船券を忘れずに
話せる島の港にいるNPCから、アデン大陸のグルーディン港やギラン港に向かう定期船の乗船券が購入できます。行き先を間違えないように注意して購入しましょう。

ゲートキーパーの
テレポート先

- エルフの遺跡
- 歌う滝
- 話せる島の西部(北側)
- 戦勝記念塔

エルフの遺跡 出現モンスターレベル10~35

道は狭いですが、モンスターがたくさん出現するダンジョンです。うかつに部屋に入るとモンスターに囲まれる危険があります。また、中央にある大部屋から先は強敵のモンスターが出現するため、ひとりでは危険です。



不意打ちに注意
通路の東側を歩くと、不意に部屋にいるスリルサッカーに襲われることがあります。通り抜けるときは西側を進みましょう。

ドレ パナル系は危険
ドレ パナル系の敵は遠距離から強力な魔法で攻撃してきます。手痛いダメージを受けるので、回復アイテムが必須です。

実践編 ファイターを育ててみよう

POINT ショートカットキーを使ってみよう

ゲームに慣れたらショートカットキーも使ってみましょう。マウス操作よりも素早く行動できるので、スムーズに冒険ができます。

主なショートカットキーとその内容(赤字で表すキーは押しっぱなしにする)

キー操作	内容	キー操作	内容
Esc	ターゲットの解除。攻撃や魔法の詠唱はターゲット解除によって中止される。	Alt + Tab	現在起動している「リネージュ」を最小化して、Windowsの画面に切り替える。
F1~F12	ショートカットウィンドウに登録した内容を実行する。ショートカットウィンドウ上部にあるコンテナ番号と、ファンクションキーの数字は対応している。	Alt + vまたはTabのみ	インベントリを開く。開いている場合は閉じる。
End	前方視点から後方視点に、後方視点から前方視点に切り替える。ただし、オプションでエンターチャットを有効にしておく必要がある。	Alt + t	ステータスウィンドウを開く。開いている場合は閉じる。
Home	視点を初期状態に戻す。ただし、オプションでエンターチャットを有効にしておく必要がある。	Alt + k	スキル/魔法ウィンドウを開く。開いている場合は閉じる。
Ctrl + 攻撃系の行動	通常では攻撃できない相手(モンスター以外のNPCやプレイヤー)に対して強制的に攻撃できる。	Alt + c	アクションウィンドウを開く。開いている場合は閉じる。
PageDown	キーを押すたびに視点が「通常視点 遠距離視点 キャラクター視点 通常視点」と切り替わる。	Alt + u	クエストウィンドウを開く。開いている場合は閉じる。
PageUp	キーを押すたびに視点が「通常視点 キャラクター視点 遠距離視点 通常視点」と切り替わる。	Alt + h	画面上のすべてのウィンドウを見えない状態にする。もう一度押すことで解除される。
Alt + F1 ~ F10	ショートカットウィンドウのページを切り替える。ショートカットウィンドウは最大10ページ登録でき、この操作によってそれぞれのページ切り替えを行うことができる。	Alt + b	掲示板を直接開く。開いている場合は閉じる。
Alt + Enter	ウィンドウモードに切り替える。ウィンドウモードの場合は全画面モードに切り替える。	Alt + x	システムメニューを開く。開いている場合は閉じる。
		Alt + j	チャットウィンドウを開く。開いている場合は閉じる。
		Alt + p	最小フレーム機能を実行。これにより最低FPSが維持された状態になり、込み入った場所でもスムーズに移動できる。
		Alt + n	血盟ウィンドウを開く。開いている場合は閉じる。
		Alt + m	マップを開く。開いている場合は閉じる。
		Alt + r	マクロを開く。開いている場合は閉じる。
		Alt + y	MSNメッセージを開く。開いている場合は閉じる。
		Alt + f	パーティーメンバーの状態変化(異常状態)の表示/非表示。

『リネージュ』のより詳しい情報は公式サイトをチェック!! <http://www.lineage2.jp>